

フェイスマスクで聞こえにくさを感じている補聴器ユーザーをサポートする方法



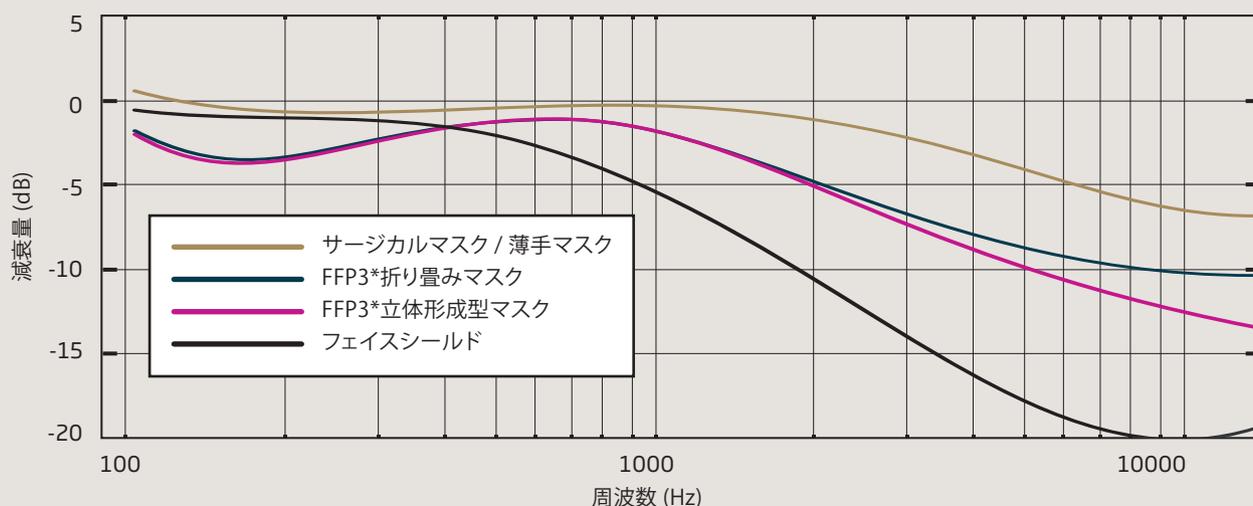
話し相手がマスクをつけていると、会話が理解しにくいことがあります
—特に難聴がある方の場合、聞き取りはさらに困難になります

フェイスマスクで口元の動きが見えなくなり、会話の理解に不可欠なことばの手がかりとなる、例えば「サ」や「ザ」といった高周波数の音が聞こえにくくなります。難聴のある方は、特に騒がしい環境では、見るという視覚的な手がかりに加えて、聞くという音声情報も損なわれるため、ちょっとした場面でもコミュニケーションがより難しくなることがあります¹。

フェイスマスクにはさまざまなタイプがあり、その種類や構造によって、聞こえにくくなる音の周波数などが異なります。また、たとえ同じ聴力でも聞こえ方は一人ひとり異なるため、聞き取りの難しさには個人差がうまれます。したがって、残念ながら万能な解決策といったものはありません。

このガイドでは、フェイスマスクで生じるコミュニケーションの問題を、補聴器ユーザーが克服するのに役立つ方法をお届けします。

図1. 4種類のフェイスマスクで測定した減衰量周波数特性²



図表参照元: Munro & Stone, 2020²

¹ <https://theconversation.com/face-masks-are-a-challenge-for-people-with-hearing-difficulties-137423>

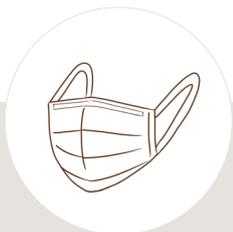
² <https://www.entandaudiologynews.com/features/audiology-features/post/the-challenges-of-facemasks-for-people-with-hearing-loss>
See also: <https://publish.illinois.edu/augmentedlistening/face-mask-acoustics/> (いずれも英文サイト)

* FFP 3 : 欧州EN規格 (CE EN 149)に基づく、使い捨て式区分のマスク、微粒子ろ過率PFE 99%

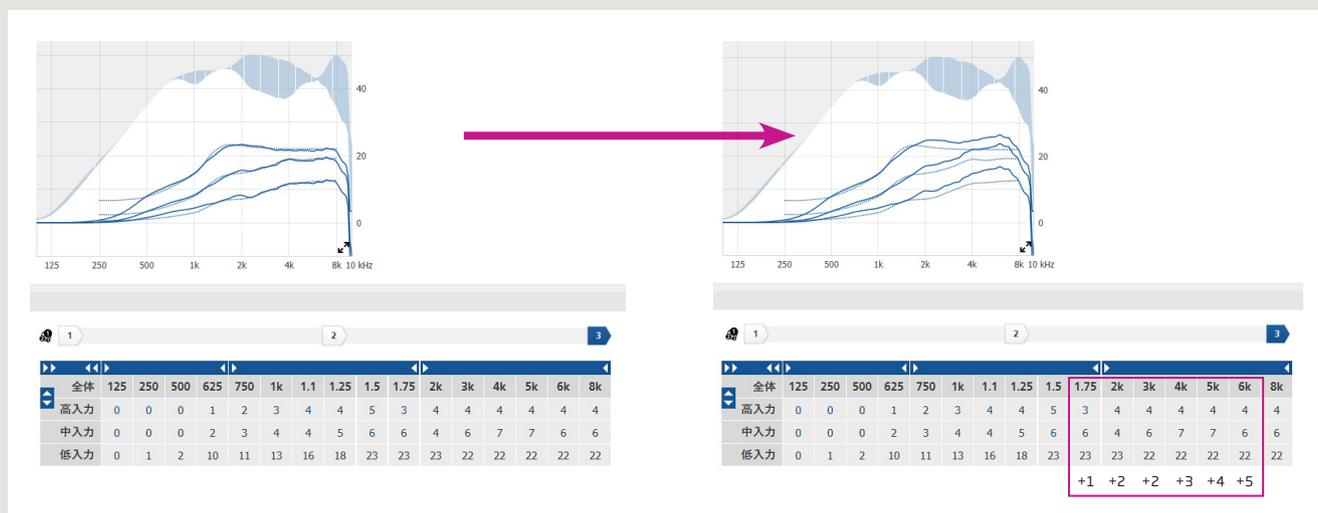
ベロックスS / ベロックス補聴器をお使いの補聴器ユーザーに向けて

補聴器にプログラムを追加することで、ユーザーご自身でプッシュボタン、リモコン、オーティコン ONアプリのいずれかを操作して「より聞き取りやすい設定」に簡単に切り替えられるようになります。

サージカルマスクや薄手マスクを対象とした利得設定、または医療現場で使われる立体形成型のマスクやフェイスシールドなどを併用した場合での利得設定になるように、それぞれ利得を調整して、追加プログラムを作成します。追加プログラムには、補聴器ユーザーがOticon ONアプリの補聴器プログラムから選択しやすい名称を付けます(例えば、「マスクプログラム」または「フェイスシールド」)。

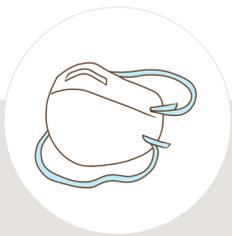


サージカルマスク / 薄手マスクに向けた追加プログラムの作り方:

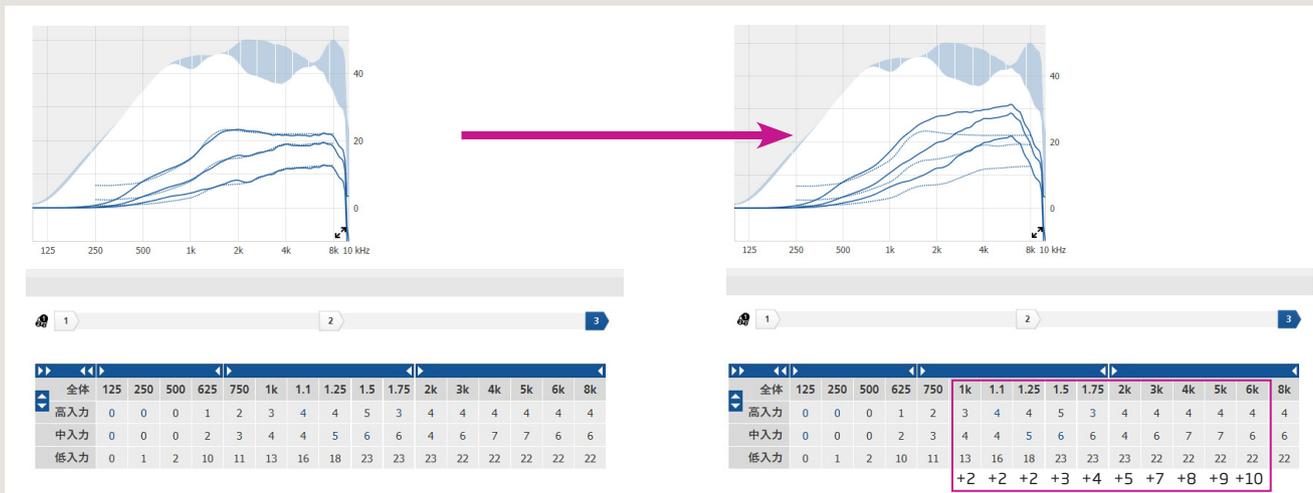


1.75 kHzから6 kHzまでの高周波数帯域で、低入力、中入力、高入力の利得を上げます。上に示したクリック回数分だけ数値を大きくします。

左右両耳の補聴器を同様に調整し、可能であればハウリングアナライザーを実行してください。



医療現場用などの立体形成型マスク (FFP3) / 厚い素材で作られたマスク:



1 kHzから6 kHzまでの高周波数帯域で、低入力、中入力、高入力の利得を上げます。上に示したクリック回数だけ数値を大きくします。

左右両耳の補聴器を同様に調整し、可能であればハウリングアナライザーを実行してください。

【ご確認ください】

補聴器ユーザーの来店が難しい場合には、オーティコンリモートケアサービス³を使用して、遠隔での追加プログラム設定を行うこともできます。

高周波数において利得値を上げることは、ハウリングリスクが高くなる可能性があります。新しい利得の設定が、ユーザーに対し前回、またはそれ以前に行った、ハウリングアナライザーを介して決定されたハウリングリスク域にないことを確認します。

これまでハウリングアナライザーを実行したことがない補聴器ユーザーへの調整の場合、またはマスクに関する追加の設定を行うことでハウリングリミットを超えるおそれのある場合は、直接来店を依頼いただくことをお勧めします。あるいは、不快な音の発生といったハウリングリスクについてもユーザーとご相談ください。

リモートマイクを使用する

コネクティブクリップまたはエデュマイクは、離れた場所にいる話者の声を聞けるようにするために設計されたワイヤレスリモートマイクです

Bluetooth[®] によるワイヤレス通信機能を搭載したベロックスS / ベロックス補聴器³ とペアリングを行って併用いただくことができます。マスクを着用している話者の胸元へ着用していただくことでメリットがあることが示されています。

補聴器ユーザーの方への実践的なアドバイス

フェイスマスクをつけている人とのコミュニケーションを改善するために、補聴器ユーザーご自身でもできることがあります。

1. 周りの騒音(例:TVの音や音楽など)をできるだけ減らすか、より静かな場所に移動してください。
2. コミュニケーションを交わす相手に、大きな声で話すのではなく、明瞭に、ゆっくり、そしてはっきりと話してもらるように依頼します。
3. 可能な場合は補聴器の追加プログラム (例: マスクプログラム) に切り替えるか、全体の音量を調整します。

³ オーティコンリモートケア サービスは、2.4GHzワイヤレス通信機能を備えたベロックスS / ベロックス補聴器でお使いいただけます。